

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	城西大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ジョウサイダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ I・II
	学部・研究科等名	経営学部
	担当教職員名・役職	高橋 欣也・助教
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	44
	受入企業等数	70
	受入企業等名	イーグルトラベル株式会社
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,5.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外で実施している就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	旅行プランの作成や事業開拓などにあたり、マーケティング調査、地元との連携を社員と協働で行う。また、旅行行程や案内の企画・立案を行い、社員たちの前でプレゼンテーションを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次~4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ I が2単位、インターンシップ II が2単位で合計4単位である。学生の将来の仕事、働く意識、企業で活躍するために必要な知識・能力の取得のため、2年次からインターンシップ I・II を選択科目として実施している。本科目を選択した学生には、授業中や夏季休暇中を利用して、各企業のインターンシップに参加してもらう。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全15回の事前学習の中で、インターンシップの意識などの理解(6回)、インターンシップの目標設定、計画(4回)やビジネスマナー研修(3回)、インターンシップ経験者による講演(2回)を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	事前に設定した目標が達成できたか、自分自身の強みと弱みを把握することができたかを振り返る目的で、インターンシップ参加後、グループワークやパワーポイントを用いての報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	教員が受入企業に赴き、学生とインターンシップ中の過ごし方、目標達成に向けた指導を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている,3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ参加中、学生自身で自己理解度を客観的に把握するため、PDSサイクルを回す方法を行っている。具体的には、学生は日報作成と教員が設定したルーブリック評価を毎日行い、インターンシップ参加後はそれらの資料を用いて客観的に自己分析を行うことができるように指導を行っている。

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	イーグルトラベル株式会社において、5日間のインターンシップを行っている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前にインターンシップの意義などを受入企業にご理解いただき、それに合わせたプログラムの設計に参画していただいている。また、インターンシップ中も受入企業と連絡を取り合う、訪問するなど受入に伴う負担感の軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ先	大学等名	城西大学
	担当部署名	経営学部事務室
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	049-271-8006
	メールアドレス	keiei@stf.josai.ac.jp